

RFGW-1-D



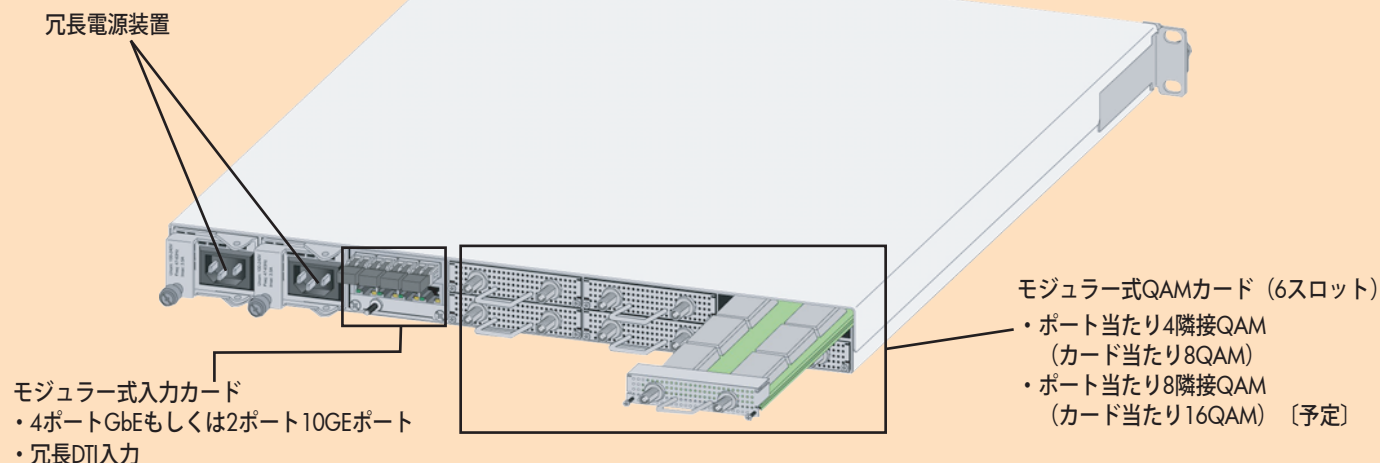
概要

DOCSIS 3.0の特徴の一つはチャンネルボンディングですが、もう一つの大きな特徴は、従来のCMTS構成を大きく変えるモジュラーM-CMTSが挙げられます。超高速インターネットの他、放送、VoD、VoIPなど、次世代IPサービスに対し、ケーブルモデムの可能性を最大限に引き出します。Cisco社のRFGW-1Dは、M-CMTSに完全準拠したユニバーサル・エッジQAMモジュレータで、従来よりもより高密度かつ、高い柔軟性を持っています。また、DOCSIS 3.0、モジュラーM-CMTS、VoDの様々な帯域をサポート、相互接続性と拡張性に富んでいるため、1QAMチャンネルたりのコストを抑えることができ、コストパフォーマンスにも大変優れています。

特徴

- 最大48QAMを実装（筐体当たり）
- 最大6QAMカードを実装（筐体当たり）
- 最大12RFポートを実装（筐体当たり）
- 冗長DTI入力
- 1GHz帯域対応
- DOCSIS 3.0対応
- HD及びSD対応
- ビデオ・スクランブル対応可能

【背面図】



仕 様

仕 様	
GbE入力インターフェース	
入力数 コネクタ インターフェース・タイプ 入力データ・レート シンタックス デジッタ・パファリング	2+2 (冗長用) または4 (独立・最大2Gbps以下) 光/SFP又はRJ-45SFP IEEE802.3ab(電気)またはIEEE802.3z(光)準拠ギガビット・イーサネット フル・ライン・レート VBR and CBR MPEG SPTS on UDP(RFC-768), RTP, L2TPv3, IGMPv3 150ms
RF出力	
出力数 コネクタ 周波数 レンジ ステップ・サイズ 安定性 精度	最大12の物理RFポート (それぞれ4つのQAMチャンネルを備える) Fタイプ、75Ω チャンネル・エッジが45~1000MHzの間にあること (調整可能) 1kHz ±3ppm ±3ppm
チャンネル帯域幅	
レベル 4チャンネルモード 2チャンネルモード 1チャンネルモード 安定性 精度	QAM伝送規格に準じて6,7-8MHz QAMチャンネルあたり53dBmV RMS, 0.5dBステップ QAMチャンネルあたり57dBmV RMS, 0.5dBステップ QAMチャンネルあたり61dBmV RMS, 0.5dBステップ ±1db ±1db
リターンロス	>14dB 45-750MHz >13dB 750-870MHz >12dB 870-1000MHz DOCSIS 3.0DRFI仕様 CM-SP-DRFI-103-060106
管理インターフェース	
インターフェース・タイプ コネクタ プロトコル	イーサネット10/100 BASE-T RJ-45 HTTP, SNMP, FTP, RPC
その他のインターフェース	
DII コンディショナル・アクセス	2 RJ-45プライマリ/冗長 イーサネット10/100 BASE-T
信号仕様	
チャンネル符号化 MER(イコライザ前) MER(イコライザ後) BER(256QAM) QAMコンステレーション	ITU-T Annex A,B,C準拠ランダムマイゼーション、リード・ソロモン、トレリス及びインターリーブ ≥40dB(RF) ≥45dB(RF) ≤5.0° (ITU-A/C プレFEC) ≤1.10 ⁻¹³ (ITU-B プレFEC/ポストトレリス) 64及び256QAM
環境仕様	
動作温度 耐久温度 標高 動作湿度 電源 動作電源電圧範囲 消費電力 (全負荷)	0°C~+50°C -40°C~+70°C -200~+10,000フィート ASML 0%~95%(結露のないこと) 100~240V ACまたは-48V DC 90~254V ACまたは-38~-58V DC 標準375W、最大410W
物理的仕様	
寸法 重量	幅482.6mm × 奥行533.4mm × 高さ44.45mm (1RU) 13.4kg

